

# 青雲同窓会報

発行  
 岩手県立花北青雲高等学校  
 青雲同窓会  
 〒028-3172  
 岩手県花巻市石鳥谷町  
 北寺林11地割1825番地1  
 TEL 0198 (45) 3731  
 FAX 0198 (45) 3746  
 発行人  
 会長 藤原康洋

## 今年こそは

## 平成のような日常に



同窓会会長

藤原康洋

日頃より同窓会事業に対して  
 ましてご理解、ご協力を賜り、  
 心より感謝申し上げます。

令和二年以来、新型コロナウイルスの  
 ウイルスの感染が拡大した  
 り、少し落ち着いてきたりを  
 繰り返し、今では流行が第八  
 波まできました。過去にイン  
 フルエンザが冬でない時期に  
 流行し、修学旅行にも影響が  
 出たような記憶があります  
 が、これだけ長期にわたって

社会生活を脅かし続けている  
 新型コロナウイルスです。  
 発生から三年も経っているの  
 にいまだに「新型」というの  
 も変な気がします。ウイル  
 スが新しいタイプに変化しな  
 がら進化を続けていることか  
 ら妙に納得です。ワクチン接  
 種は四回、五回と回数ばかり  
 増えています。副反応で体  
 調不良を訴える方もおり、感  
 染しても安心して服用できる

特効薬の早期開発が待たれ  
 ます。

さて、新型コロナウイルス感染に伴  
 い、同窓会の事業も思うよう  
 に実施できず、総会は令和二  
 年、三年と開催を見送り書面  
 による総会としましたが、昨  
 年は学校の多目的教室を使  
 用して総会を開催することが  
 できたほか、本校卒業生を講  
 師として招き、生徒（三年生）  
 を対象とした青雲講演会も行  
 うことができました。学校生  
 活ではコロナ元年、二年目は  
 感染予防最優先で制約が多  
 く、様々な行事等が中止や参  
 加見送りになっていました  
 が、昨年からは感染拡大に対  
 応した予防措置を取りなが  
 ら、ほぼコロナ前の学校生活

が送れるようになり、コロナ  
 との共生が少しずつ進んでき  
 ています。というものの一日  
 でも早く元の普通の生活に  
 戻ってもらいたいものです。

先日新聞に「異次元の少子  
 化対策」と掲載されました。  
 具体的な中身はこれからのよ  
 うですが、昨年一年間の全国  
 の出生数が統計を取り始めて  
 以来、初めて八十万人を下回  
 る見込みとのこと。どん  
 どん進む少子・高齢化。十年  
 後、二十年後とどんな世の中  
 になっていくのでしょうか。

現在、令和三年度から七年  
 度までの県立高等学校再編  
 計画が策定されていますが、  
 将来的に高校再編は避けて  
 通れないことから、花北青雲  
 高等学校として存続してい  
 けるよう、同窓会としても何  
 らかの力となつて応援してい  
 ければと思います。

また、来たる令和六年に本  
 校が創立五十周年を迎える  
 ことから、昨年十月に五十周

年記念事業実行委員会を立  
 ち上げ、式典や記念誌編纂、  
 祝賀・記念事業を企画・実行  
 していくことといたしました  
 た。節目の五十年ですので、  
 記憶に残るよりよい記念事  
 業にできるよう多くの皆様の  
 ご協力をいただきながら計画  
 を進めてまいります。

現在の同窓会は、昭和四十  
 九年度に結成され、令和四年  
 度の卒業生百五十人が入会  
 し、現在の会員数は七千六百  
 三十九人となりました。例  
 年ですと東京支部総会は六  
 月の第三土曜日に、本部総  
 会は八月の最終土曜日に開  
 催しておりますが、今年こそ  
 両方ともに懇親の場まで予  
 定どおり開催されることを  
 祈っております。例年の事  
 業のほか学校創立五十周年  
 に向け、会員の皆様には相互  
 の連携を密にしながら、学  
 校・同窓会に対しまして、ご  
 支援、ご協力をよろしくお願  
 いいたします。

# ごあいさつ



花北青雲高等学校

校長 佐々木 伸 良

今年度四月より、花北青雲高等学校に校長として赴任いたしました佐々木伸良(ささきのぶよし)と申します。

青雲同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本校は今年度、創立四十八年目となり、二年後には創立五十周年を迎えます。平成十五年に総合的専門高校として、再スタートしてからは十九年目を迎えました。情報工学科、ビジネス情報科、総合生活科の専門的な学びに加え、総合的専門高校の特長である他学科の科目を学べる点を生かし、生徒たちは職業選択の幅を広げながら専門性を高めています。

## 新型コロナウイルス感染症

の感染拡大により、この一年間、日常の学業や部活動に大きな影響がありましたが、感染防止に努めながら、さまざまな行事や大会を実施することができました。コロナ禍以前のような活動ができない状況は、現在も続いておりますが、生徒たちがマスクを外し、安心して教育活動に取り組める日が再び訪れることを願っております。

このような状況でも、生徒たちは、工夫を重ね、今できることに真剣に取り組む、活躍を見せてくれました。部活動では、全国大会にバドミントン部、O A部に文芸部、工学研究同好会が

出場、卓球部も東北大会に出場しております。商業研究同好会は、道の駅石鳥谷や石鳥谷まちの駅酒蔵祭りなどにおいて、地域貢献活動を行い、高い評価を得ております。生活研究同好会は、SDGsの活動として、フードバンクなどの活動を行い、社会問題の解決に取り組んでおります。いずれの活動においても、青雲生がもつ何事も全力で取り組む姿勢は、先輩から後輩へと受け継がれているものです。詳しい生徒の活動状況は、本校のホームページに随時掲載しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

進路面では、生徒が自分の進路希望を達成できるように、進路指導の内容を充実させております。特に就職指導では、外部機関と連携し、企業訪問や企業説明会を積極的に行うことでキャリア意識の向上を図っております。今年度の就職状況としては、公務員には

六名が内定し、民間と合わせた就職内定率は一〇〇%となりました。進学については現在のところ四年制大学に二十二名、短期大学に十二名が合格しております。将来の職業選択を見据えて上級学校に進学する生徒が全体の約六割となっております。

さて、一月の青雲講演会では、同窓会副会長の佐藤智栄様(十九回生平成四年度卒)から「後輩に伝えたいこと」と題して、ご講演をいただきました。コロナ禍のため三年生のみ聴講となりましたが、社会人としての心構えについて、ユーモアを交えて、これまでのご自身の経験から学んだ多くのことを後輩たちに教えていただきました。多くの生徒が、「変わらなければ、選ばれない。」という佐藤様の熱いメッセージに心を打たれたようでした。そのためには、「夢」を持つこととその夢の実現に向けて、やるべきことを明確に

し、実施期限を設けて積み重ねていくことが大切だということを教えていただきました。

令和六年度に本校創立五十周年を迎えるにあたり、令和四年八月二十六日に本校において、創立五十周年記念事業第一回実行委員会が開催され、記念事業に向けて大きな一歩を踏み出しました。実行委員会では、事業計画案、予算案、今後の準備日程等について協議がなされました。今後はさらに実行委員会の活動が具体化していくと思われ、同窓会の皆さまのご協力をお願いいたします。

最後になりますが、同窓生の皆さまには、在校生への多方面にわたるご支援をいただいておりますことに改めて感謝申し上げますとともに、今後も地域社会の未来を担う人材育成に取り組んで参りますので、同窓生の皆さまの温かいご支援とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

# 東京支部総会 中止のお知らせ

令和四年六月十八日  
(土)、青雲同窓会東京支部総会を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から東京支部長、同窓会役員で検討を重ねた結果、昨年度同様、今年度も中止となりました。東京支部会員には書面にて中止の旨をご報告させていただきます。

来年度の開催に向けて役員、事務局ともに計画して参りますので今後ともよろしくお願いたします。

# 青雲同窓会総会のご報告

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から過去2年間、開催を見送りさせていただきましたが、今年度は九月二日(金)に本校多目的教室において、懇親会を

伴わない形式で三年振りに総会を開催いたしました。平日にもかかわらず、二十五名の会員の方に参加していただき、事務局からの議題は全て承認されました。



同窓会長ご挨拶

また、役員改選年度ということから、長年同窓会活動にご尽力いただきました佐々木俊幸副会長、千葉俊明理事、高橋幸治理事が辞任の意向を示し、新たに鎌田るみ子理事、高橋和義理事、鎌田江利子理事、阿部好成監事が就任いたしました。また、佐藤智栄理事が副会長に、柴田晃子監事が理事に、新たに就任いたしました。



新役員の方からご挨拶

令和六年度には創立五十年記念式典が予定されているため、今後同窓会活動へのご協力、何卒よろしくお願いたします。



## 役員紹介

会長	藤原 康洋	(昭和55度卒)
副会長	中村 弘樹	(昭和60度卒)
副会長	佐藤 智栄	(平成4度卒)
理事	多田 義明	(昭和43度卒)
理事	藤井 仁	(昭和55度卒)
理事	鎌田 るみ子	(昭和55度卒)
理事	岡田 知穂	(昭和57度卒)
理事	三宮 真利	(昭和57度卒)
理事	小野 英二	(昭和61度卒)
理事	高橋 和義	(昭和61度卒)
理事	鎌田 江利子	(昭和62度卒)
理事	佐藤 雄三	(平成6度卒)

理事	柴田 晃子	(平成3度卒)
監事	伊藤 秀己	(昭和58度卒)
監事	菊池 司	(昭和60度卒)
監事	阿部 好成	(昭和61度卒)
顧問	阿部 正介	(昭和43度卒)
顧問	高橋 安之	(昭和46度卒)

### 東京支部

支部長	佐々木 則司	(昭和49度卒)
副支部長	赤坂 智仙	(昭和63度卒)
事務局	荒瀬 富姫子	(昭和47度卒)
事務局	中島 清郎	(昭和62度卒)
顧問	菅原 崇人	(昭和45度卒)

# 新役員あいさつ

## 理事就任あいさつ

この度青雲同窓会理事に就任致しました宜しくお願い致します。26年間青森県(青森市、八戸市)勤務から3年前に花巻市に戻って来ましたが、花巻市の様々な景色が26年間で大きく変わっていたことに非常に驚きました。

現在、花巻商工会議所、北上商工会議所の共済業務に携わる仕事をしており、花巻市、北上市の事業所の皆さんと地域密着で業務させて頂いております。

令和6年度に、創立50周年を迎える母校の為に尽力していきたいと思っております。

今後とも宜しくお願い致します。



高橋和義さん

## 期待の新入社員は同窓生

早いもので、私が卒業してから35年の月日が経ちました。同時に郵便局へ就職して35年になりました。

私が就職後も我が母校から毎年優秀な生徒さんを郵便局へ送り出して頂き、岩手県内はもちろんのこと、東北各地や本社でも活躍している社員が多数います。同窓生としてとてもうれしい限りです。

花北青雲高等学校の校風さながらに、とても明るく、笑顔も素敵で何より仕事に対し一生懸命取り組む姿勢がとても素晴らしい方ばかりです。



近年、新入社員の3年以内離職が多いと言われておりますが、郵便局では時間をかけ各種研修を行い、スキルに合わせた部署で勤務できるよう配慮しながら人材育成に努めています。

今年度入社の当局社員も順調に仕事を覚えお客さまに可愛がっていただけるようになりこれからの成長がとても期待できます。

私も負けないう、日々スキルアップしていきたいと思っております。



鎌田江利子さん

## ♪～青空のいざなう彼方～♪

2歳年上の兄の後を追って花北商に入学して、まず最初に感動したのはこの校歌。

「え～っ！作詞があのだ谷川俊太郎？」

●中学の頃はテニス・水泳・陸上とスポーツに明け暮れていましたが、ロックバンドに憧れていた私は即、吹奏楽部に入部(目的はドラム)。ほとんど音楽のことしか頭に無かった高校生活…とはいえ、歌手になりたいという願望は無く、ただ音楽が好きというだけでしたが、色々な出会いの中で24才で演歌歌手デビュー、そして55才で花巻市議会議員当選、と同級生もビックリの人生を歩ませていただいております。今の自分があるのは、北商の自由な校風や先生方各々の捌けた人柄のおかげであり、培われたものは偉大であったと実感しております。

●現在は校名も変わり、ほんの少し戸惑いはあるものの、花北青雲生の活躍(商品開発や研究活動)を耳にする度、誇らしい気持ちでいっぱいになります。

未来を担う後輩の皆様には更なる“チャレンジ”を期待しております。



羽山るみ子さん

私こと令和4年11月に地元に戻り、税理士事務所を開業しました。

早速、税理士の看板を見つけた同窓会幹事さんから税理士業務を活かして「監事」を引き受けてもらえないかという力強いオファーを受け、二つ返事で監事職をお引き受けしました。

現在は職業柄、各種団体のみならず金融機関の方々そして、事業者のお客様とお会いする機会が非常に多いところです。

初対面の会話であってもそこでお互いに青雲同窓生であることが分かりますと、年齢が離れていてもすぐに距離が近くなるのが実感できます。お互いに話が弾み、有意義な時間を過ごすことができるのがとてもうれしい限りです。

おかげさまで今では、この青雲同窓生であるというのが私の仕事上のストロングポイントのひとつとなっています。

今後も誇るべき本校の卒業生のみならずとお会いできることを楽しみにしております。

最後になりますが、税理士なので、当然がっちり、厳しく監査をさせていただきます。



阿部好成さん



校歌練習 (コロナ禍のため、屋外で校歌のみの練習)



入学式

4月



体育祭



6月



生徒総会 (オンラインにて各教室に配信)

5月



部室棟前の桜満開



生徒会役員選挙 (オンラインにて実施)

9月



2年生インターンシップ



8月



青雲祭



ロードレース大会

10月

12月



修学旅行 (2年生12月12日~16日、3年生12月17日~20日)



令和4年度 事業

〈令和4年〉

- 4月8日(金) 入学式 於 本校第一体育館
- 5月26日(木) 第1回理事会 於 本校小会議室
- 7月20日(水) 第2回理事会 於 本校小会議室
- 9月2日(金) 定期総会 於 本校多目的教室

〈令和5年〉

- 1月下旬 第3回理事会 於 (書面にて決議)
- 1月24日(火) 青雲講演会 於 本校多目的教室  
講師: 佐藤智栄氏 (本校平成4年度卒業生)
- 2月28日(火) 同窓会報第43号発行
- 同窓会入会式 於 本校第一体育館
- 3月1日(水) 卒業式 於 本校第一体育館

令和5年度 事業予定

〈令和5年〉

- 4月8日(土) 入学式 於 本校第一体育館
- 5月中旬 第1回理事会 於 本校小会議室
- 6月17日(土) 東京支部総会 於 東京都内
- 7月上旬 第2回理事会 於 本校小会議室
- 8月26日(土) 定期総会 於 石鳥谷町 新亀家
- 10月下旬 青雲講演会 於 本校 (場所: 未定)

〈令和6年〉

- 1月下旬 第3回理事会 於 本校小会議室
- 2月29日(木) 同窓会報第44号発行
- 同窓会入会式 於 (場所: 未定)
- 3月1日(金) 卒業式 於 本校第一体育館

# ◆青雲講演会◆

講師

佐藤 智栄氏  
(平成4年度卒業生)

本校の同窓生を講師としてお招きし、後輩たちへエールを送る内容で実施している青雲講演会。感染症拡大のリスクを最小限に抑えるため、今年度も昨年同様、三年生のみを対象としての開催となりました。

講師は、佐藤智栄さんです。佐藤さんは本校平成四年度の卒業生であり、現在は花巻市の「サトウ精機株式会社 代表取締役社長」として、機械加工による金属部品の製造をとおして日本、そして世界のものづくりを支えています。経営者として感じていることなど、佐藤さんの貴重な人生経験からこれから社会に旅立つ三年生にエールを送っていただきました。以下、佐藤さんの講演内容を抜粋してご紹介します。

### 【サトウ精機について】

サトウ精機は小さい町工場ですが、地元の小さい会社や東京の大きな会社まで、幅広くお付き合いさせていただいております。サトウ精機は一九八六年に創業し、当初は工作機械において金属部品製作を中心に展開しておりましたが、現在は設計から加工まで一連の作業を担うなど、三十五年の間でもものづくりの形態を変化させてきました。時代の流れとともに、お客様のニーズは変化していきます。企業も「変わらなければ生き残れない時代」となっており、創業当初と三十五年間同じ仕事をしていたら今の私たちの会社は存在しないと思っております。

高品質、そして短い納期で製作することが私たちの会社



の魅力であり、岩手県内の会社との取引をはじめ、防衛関係、民生機器(家電製品などの部品)、ボーイング787の補助翼(フラップ)のモーターに関係する部品なども製作しています。社員数は三十人と少ないですが、海外の会社とも取引を進め、大手企業ばかりに目を向けがちですが、この企業を支えているのが私たちの技術で支えていると自負しています。

### 【高校卒業後】

私は高校卒業後、盛岡市の専門学校・秘書科に通いつつ、ダブルスクールで東京の短期大学にもスクーリングで通い、二足の草鞋で資格取得に向けて勉強していました。しかし、私が卒業したころの時代は就職氷河期で、就職活動は大変苦労しました。ご縁があつて盛岡市の自動車ディーラーに入社しました。本当は営業をやりたいかったのですが、資格を多く取得していたため、総務・経理の仕事に任せられることになりました。

活動は大変苦労しました。ご縁があつて盛岡市の自動車ディーラーに入社しました。本当は営業をやりたいかったのですが、資格を多く取得していたため、総務・経理の仕事に任せられることになりました。やめたいと思う日々が続いていましたが、上司に何度も相談し、営業の仕事に配置替えをもらいました。営業の仕事を通じてお客様とお話するのが非常に楽しかつ

たのですが、車はなかなか売れませんでした。しかしある時、「お客様に喜んでもらえる話」をすることや、「このお客様とのご縁を大切にしよう」と考え始めたころに、ものすごく営業成績があがってきました。「変わらなければ選ばれない」という考え方に気づいた瞬間でもありません。うまくいかないことがあつても、自分の気持ちを変化させたことでよい成果を上げることができたのだと思っております。

その後は海外で仕事をしたいと考えるようになり、香港支店がある銀行を受験したこともあります。内定を頂きましたが、ちょうどその頃に父が体調を崩したため、父を手伝いたいという考え方が強くなり、父が創業したサトウ精機に入社することにしました。最初は嫌だった仕事も、やっけていくうちにどんどん楽しくなってきました。働いていくうちにたくさんの方のアイデアが生まれ、ものを造るだけではなく、SDGs(社員で勉強会・学生のインター

ンシップ受け入れ・メンテナンスしやすい設備の設計など)に取り組み始めることにしました。そのような活動を続けていく中で、経済産業省「地域未来牽引企業」に選ばれました。そのほかにも、新しい技術を生み出して社会に貢献した成果が認められ、主要取引先企業からも最高の技術省も3度に渡り受賞することができました。

【次のことを質問します】

Q.. 企業は新卒者に技術力を要求すると思いますか？

A.. 新入社員研修や学習会を通じて、社員が成長できる環境をつくるのが会社の役割です。しかしながら、新入社員に最初から技術を要求する会社もあります。

Q.. 今の若者は言われたことしかできないと思いますか？

A.. 「言われたことしかできないのか？」という上司がいたら、私は「言われたことをきちんとできるのなら立派」だと思います。できないのなら、指導者の責任だと思

ため、指導者に指導方法を確認したりしています。

【これから社会人になる皆さんへ伝えたいこと】

○コミュニケーション能力について

コミュニケーション能力が高い人とは、ただ会話をするだけではなく、相手が何を言っているか「言葉を分解して相手の一言を何通りもくみ取ることができる人です。仕事や学校生活を通して物事を深く洞察する力を身に付けてほしいと思います。私は口数が少ない人には、選択肢を与えて言葉を引き出すようにこころがけています。

○積み重ねが大切

1. 01の法則.. 1. 01の365乗=37.8 こつこつ努力すればやがて大きな力となる

0. 99の法則.. 0. 99の365乗=0. 03 逆に少しずつつぎよれば、やがて力はなくなる

○夢はありますか？

たくさんさんの経験から、たくさん失敗してほしい。失敗から人間は成長します。夢を持って、その持った夢に「期限」をつけてください。夢は実現しそうなものですが、努力すれば実現するものです。「いつまで」という目標をもたないから実現が難しい。○歳までに○〇したいという期限をつけてみてください。

今後日本、そして東北のものづくりを支えるスーパーパートナーであり続けたいと思っています。これから社会に出る三年生の皆さんの明るい未来を願っています。



◆同窓会激励式◆

六月二十二日(水)、本校多目的教室において同窓会激励式が実施されました。同窓会では、部活動や各種コンクールにて東北大会以上の出場者に、一人五千円の激励費をお渡ししております。対象は、バドミントン部男女、卓球部女子、O A部、珠算部、文芸部、情報処理競技大会出場の一学生です。



同窓会長からは「高いレベルの大会になると思うが、今まで取り組んできたことを信じて力を発揮してきてほしい」と、ごあいさつをいただきました。









- 女子シングルス 佐藤鈴緒
- 第51回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会
  - 男子学校対抗 ベスト8
  - 男子ダブルス ベスト8
  - 平賀翔太・小山田泰地
  - 女子学校対抗 出場
  - 女子ダブルス 出場
  - 佐藤鈴緒・森柑奈
  - 村松愛花・黒田紗希 ベスト8
  - 女子シングルス ベスト8
  - 佐藤鈴緒
- 第76回東北高等学校卓球選手権大会
  - 女子ダブルス 和野内奏詩・八重樫恵
- 第46回東北高等学校選抜卓球大会
  - 男子学校対抗 出場
- 【ソフトテニス部】
  - 東北ソフトテニスシングルス選手権大会
    - 女子シングルス 工藤晴・松葉瑠花
- 第60回東北六県高等学校ワフプロ競技大会
  - 団体 第5位
  - 個人 第5位
- 【文芸部】
  - 第29回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた選手権大会
    - 団体戦 第7位
    - 小倉百人一首かるた新人大会 第6位
- 【珠算部】
  - 第49回東北六県高等学校ビジネス計算競技大会

- 珠算競技
  - 個人総合の部 田中心結 出場
- 【工学研究同好会】
  - 令和4年度マイコンカーラリー北東北地区大会
    - Advanced部門 第1位
    - Basic部門 第1位
    - 大原空晃
    - 幅龍斗 第4位
    - 和山武尊 第5位
- 【ビジネス情報科】
  - 東北六県高等学校ビジネス計算競技大会
    - 団体総合 第5位
    - 個人総合 第7位
- 県大会入賞 ●●●
- 【バドミントン部】
  - 第74回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技
    - 男子学校対抗 第2位
    - 男子ダブルス 黒田脩生・佐々木歩生 第2位
    - 平賀翔太・小山田泰地 第4位
    - 男子シングルス ベスト8
    - 平賀翔太 第2位
    - 女子学校対抗 第2位
    - 女子ダブルス 佐藤鈴緒・森柑奈 第1位
    - 女子シングルス 佐藤鈴緒 第1位
- 第67回岩手県種目別バドミントン選手権大会
  - 男子ダブルス 黒田脩生・佐々木歩生 第3位
  - 平賀翔太・小山田泰地 ベスト8
  - 男子シングルス ベスト8

- 女子ダブルス ベスト8
  - 佐藤鈴緒・森柑奈
  - 久保田つぐみ・川村心
  - 女子シングルス 第1位
  - 佐藤鈴緒
  - 森柑奈 ベスト8
- 第41回全日本ジュニアバドミントン選手権大会ジュニアの部岩手県代表選考会
  - 男子ダブルス 平賀翔太・小山田泰地 第2位
  - 菊地直仁・菊池咲久 ベスト8
  - 男子シングルス 平賀翔太・小山田泰地 第3位
  - 菅原真人 ベスト8
  - 女子ダブルス 佐藤鈴緒・森柑奈 第1位
  - 女子シングルス 佐藤鈴緒 第1位
- 第62回岩手県高等学校新人バドミントン大会
  - 女子学校対抗 第1位
  - 女子ダブルス 佐藤鈴緒・森柑奈 第1位
  - 村松愛花・黒田紗希 第2位
  - 久保田つぐみ・川村心 ベスト8
  - 女子シングルス 佐藤鈴緒 第1位
  - 森柑奈・熊谷楓・村松愛花 ベスト8
- 第23回岩手県高等学校選抜バドミントン大会
  - 男子学校対抗 第2位
  - 女子学校対抗 第1位
- 【卓球部】
  - 第74回岩手県高等学校総合体育大会卓球競技
    - 男子学校対抗 第3位
    - 女子学校対抗 ベスト8

- 女子ダブルス ベスト8
  - 八重樫恵・和野内奏詩
- 第68回岩手県高等学校新人卓球大会
  - 男子学校対抗 第3位
  - 男子ダブルス ベスト8
  - 伊藤・木村
  - 女子ダブルス ベスト8
  - 八重樫恵・和野内奏詩
- 第46回東北高等学校選抜卓球大会岩手県予選会
  - 男子学校対抗 第2位
  - 女子学校対抗 第5位
- 【ソフトテニス部】
  - 第67回岩手県高等学校新人ソフトテニス大会
    - 女子個人戦 ベスト8
    - 工藤晴・松葉瑠花
- 【女子サッカー部】
  - 第31回全日本高等学校女子サッカー選手権大会岩手県大会 第3位
- 【O.A部】
  - 岩手県高等学校ワフプロ競技大会
    - 団体 第2位
    - 個人 第3位
    - 多田遥夢 第5位
  - 岩手県高等学校新人ワフプロ競技大会
    - 団体 第1位
    - 個人 第1位
    - 岡崎愛月 第2位
    - 藤瀬日陽莉 第4位
- 【文芸部】
  - 岩手県高校かるた選手権大会
    - 個人A級 第2位
    - 戸田彩水 第6位
    - 菅原百花 第7位
    - 川村真鈴 第8位
  - 岩手県高等学校総合文化祭
    - 小倉百人一首かるた部門 第4位
    - 川村真鈴 第8位
    - 牛崎美琴 第8位
  - 第28回岩手県高等学校新春大会
    - 個人戦 瀧田杏恩 第7位

- 岩手県高校生文芸コンクール
  - 詩部門 玉山日菜美 最優秀賞
  - 戸田彩水 優秀賞
  - 佐々木羽菜 八重樫春希 入選
  - 児童文学部門 入選
  - 演田杏恩 入選
  - 戯曲部門 菅原百花 入選
  - 俳句部門 川村真鈴 入選
- 【珠算部】
  - 岩手県高等学校ビジネス計算競技大会
    - 珠算の部 第2位
    - 団体総合競技 和野内 第3位
    - 電卓の部 菊池、戸来、菊池 第3位
    - 珠算競技(読上暗算) 和野内奏詩 第2位
- 【ビジネス情報科】
  - 岩手県高等学校情報処理競技大会
    - 個人 佐々木羽菜 第4位
    - 団体 第3位
  - 岩手県高等学校簿記競技大会
    - 個人 第5位
    - 団体 第5位
  - 岩手県高等学校新人ビジネス計算競技大会
    - 珠算 第2位
    - 団体 第3位
    - 個人 田中心結 第3位
- 【情報工学科】
  - 全国高等学校ロボット競技大会岩手県選考会
    - 太田、木村、畠山、横山 第5位
- 【各教科】
  - 第42回岩手県商業高等学校英語スピーチコンテスト
    - 佐々木実音 第6位
  - 税に関する高校生の作文
    - 花巻税務署長賞 照井月梨